

## 緊急人道支援学会 ラウンドテーブルセッション 人道支援におけるロジスティクス:企業連携の可能性

### ■ 要旨

国連機関、NGO、行政機関などが使用な実行機関であった国際協力の分野で、民間企業との協力が模索されて久しい。その間、特に開発や環境保全の分野で協力や連携は進み、現在では無くてはならないものとなった。一方で、緊急性が伴うことの多い人道支援の分野ではどうだろうか。人道支援は一般的に活動範囲が広いこと、また受益者が限定的でないことから、人道支援を専門とする機関や行政が行うものという印象がまだまだ強いのではないだろうか。

このような背景から、学会ではこの分野、つまり「人道支援における企業との連携」についての議論を高めるべく、2024 年に開催された第1回大会では、通信やテクノロジーについてのセッションを持った。第2回となる今回は、ロジスティックに関するラウンドテーブルセッションを開催する。

言わずもがなではあるが、ロジスティックは災害発生日より必要となり、緊急物資、復旧に必要な物資、また日常生活が取り戻されることにも大きな役割を持っており、今後人道支援との連帯が必要な分野である。本セッションでは、参加各社の現在までの意図的、非意図的な人道支援での経験、また将来的な可能背などにつき意見交換を行う。

### ■ 略歴

#### 【発表者】

田中康弘 / たなかやすひろ

アマゾンジャパン合同会社 FC オペレーション事業部 関東統括本部長

2008 年アマゾンに入社、関東のFC拠点を統括しています。また、人道支援としてアマゾンがグローバルに展開している災害支援活動 DRbA (Disaster Relief by Amazon)の日本コアメンバーとして活動しており、災害支援拠点として 2023 年 5 月に KIX6(兵庫県尼崎市)に日本初の DRbA を Launch、8 月 TYO8(神奈川県相模原市)に 2 拠点目をLaunchさせ、2024 年 1 月 1 日の能登半島地震の時には、この 2 拠点からNPOと連携して珠洲市に最初の支援物資をお届けしました。2024 年は更に北海道・沖縄に Launch し、現在 4 拠点到拡大しています。2025 年は日本の災害支援の新しいあるべき姿を官民間問わず連携して皆様と共に創り上げ、Globalに発信出来たらと考えています。

古川善得 / ふるかわよしのり

スキャン・グローバル・ロジスティクス株式会社

事業開拓部 セールスマネージャー(支援物資・プロジェクト輸送)

中央大学経済学部経済学科卒業後、大手日系物流会社にて国内外の輸送業務に従事。この間ウェールズ大学院にて経営修士を取得。その後中東系物流会社にて、ODA 関連の輸送業務に従事開始。現行のスキャン・グローバル・ロジスティクス株式会社にて、海上輸送/航空輸送(チャ

一ター便含む）・鉄道輸送・陸上輸送を担当。主として JICA、市町村、商社等の ODA・支援関連輸送業務、国際機関の支援物資輸送業務に従事。現行、ウクライナ向け支援物資輸送・商業輸送をメイン業務とし、ガザ・ヨルダン川西岸その他アフリカ・カリブ等幅広いエリアの輸送業務に従事。

田中浩二 / たなかこうじ

三菱倉庫株式会社 サステナビリティ推進部長

(学歴)慶応義塾大学経済学部卒。青山学院大学政治経済学部修士課程修了。

(職歴)1991年三菱倉庫株式会社入社。泰国三菱倉庫会社出向。三菱倉庫株式会社人事課長。

(所属団体)日本物流学会 神奈川赤十字山岳奉仕団

(資格)中小企業診断士

### 【ファシリテーター】

堀江正伸 / ほりえまさのぶ

青山学院大学地球社会共生学部 教授

慶應義塾大学経済学部卒業後、建設勤務を経て国際連合世界食糧計画 (WFP)へ転職。WFP ではインドネシア、スーダン、フィリピン、イエメン、アフガニスタンにて勤務。自然災害後、紛争中、災害からの復興期といった様々な場面にてロジスティックを含む人道支援に従事。WFP 勤務中に早稲田大学社会科学部研究科にて博士課程修了、2018年より大学教員に。2022年4月より現職。

### ■ セッションの流れ

16:45 オープニング

16:50 - 17:10 田中 康弘 (アマゾンジャパン合同会社) 発表

17:10 - 17:30 古川 善徳 (スキャン・グローバル・ロジスティックス株式会社) 発表

17:30 - 17:50 田中 浩二 (三菱倉庫株式会社) 発表

17:50 - 18:15 会場の参加者を交えて質疑応答、ディスカッション